

入札公告

次のとおり競争入札に付します。

令和元年5月7日

支出負担行為担当官

消防庁総務課長 澤田 史朗



1 競争入札に付する事項

- (1) 件名 「危険物取扱者の保安講習に係る調査検討業務」
- (2) 概要 「危険物施設の長期使用に係る調査検討会」での提言を踏まえ、危険物取扱者の保安講習における点検・維持管理の徹底方策を反映するための具体的な方策について調査検討を行う必要があるため、危険物取扱者の保安講習のあり方等について調査検討を行うものである。
- (3) 仕様 消防庁予防課危険物保安室にて配布

2 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第70条の規定に該当しない者であること。ただし、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者については、この限りでない。
- (2) 予決令第71条の規定に該当しない者であること。
- (3) 平成31・32・33年度総務省競争参加資格（全省庁統一資格）の「役務の提供等（調査・研究）」の資格等級A、B又はCに格付けされ、関東・甲信越地域の競争参加資格を有する者であること。
- (4) 総務省及び他省庁等における指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、他省庁等における処分期間については、総務省の処分期間を超過した期日は含めない。
- (5) 入札説明書に定める提出物を提出し、支出負担行為担当官が書面による審査の上、応募者の条件に適合すると判断した者であること。

3 入札の条件

- (1) 入札において使用する言語 日本語及び日本国通貨及び通貨
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除
- (3) 契約書等作成の要否 要
- (4) 入札の無効 本公告に示した入札参加に必要な資格のない者の入札又は入札条件に違反した入札

(5) 落札者の決定方法

総合評価落札方式（加算方式）とする。

提案書等の書類及び資料を添付して入札書を提出した入札者であって、上記2の競争参加資格の要求要件を全て満たし、当該入札者の入札価格が予算決算及び会計令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であり、かつ、総合評価の最も高い者を落札者とする。ただし、予算決算及び会計令第84条に該当する場合は、予算決算及び会計令第85条の基準（予定価格に10分の6を乗じて得た額）を適用するので、基準に該当する入札が行われた場合は入札の結果を保留する。この場合、入札参加者は、当局の行う事情聴取等の調査に協力しなければならない（調査の結果、会計法第29条の6第1項ただし書きの規定に該当すると認められるときは、その定めるところにより、予定価格の制限の範囲内で次順位の者を落札者とすることがある。）。落札の決定にあたっては、入札書に記載された金額に消費税及び地方消費税に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札金額とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

4 入札説明会開催の有無

- (1) 日 時 令和元年5月13日（月）午後3時00分から
- (2) 場 所 東京都千代田区霞が関2-1-2
中央合同庁舎第2号館3階 消防庁第一会議室
- (3) 入札説明会参加申込書提出先 消防庁予防課危険物保安室企画係

5 入札説明書・仕様書の配布日時及び場所

- (1) 日 時 令和元年5月7日（火）から令和元年5月24日（金）
平日午前9時30分から午後5時まで

(2) 場 所 東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎2号館 3階
消防庁危険物保安室企画係 (担当:辰川)

6 入 札

入札者の受付は、次の日時及び場所において行う。

(1) 日 時 令和元年6月7日(金) 午後1時00分から

(2) 場 所 東京都千代田区霞が関 2-1-2
中央合同庁舎2号館 3階 消防庁第一会議室

7 開 札

入札後、入札場所と同じ場所で直ちに行う。

8 再度入札

(1) 開札後、各人の入札のうち、予定価格内の入札がないときは、直ちに再度の入札を行う。

(2) 再入札を行っても落札者がないときは、入札をやめることがある。この場合、異議の申し立てはできないものとする。

以 上

問い合わせ先

総務省消防庁予防課危険物保安室

企画係 辰川

03-5253-7524

前言 論語卷之四合論題 27-1-8 國研院哲學所叢書第一輯（總序）
（原稿上註明）討論中華文化傳承與批判研究

中華文化傳承與批判研究，是哲學社會學人
（或曰知識分子）對中國千年文明的批判。這
是一場一以懷疑精神為主張的中華文化傳承
運動。這場運動，繼承了哲學社會學的傳統。

中華文化傳承與批判研究，是哲學社會學人

（或曰知識分子）對中國千年文明的批判。這場運動，繼承了哲學社會學的傳統。
這場運動，繼承了哲學社會學的傳統。